

小項目抜粋資料
平成 28 年度 業務実績報告

区分	項目番号	小項目の内容	ページ
質問のあった項目	1-2-(4)	臨床研修医の育成	2
	2-2-(4)	事務部門の強化	4
	3-1-(1)	安定的な経営の維持	6
	3-1-(2)	収入の確保、費用の節減	8
評価変更の意見のあった項目	1-4-(2)	患者ニーズに応じた医療・病院環境の提供	13

第1 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置

2 医療の質の向上と人材の確保

(4) 臨床研修医の育成

中期目標	臨床研修病院として、ニーズに合致した魅力的なプログラムの構築等により教育研修機能の充実を図り、臨床研修医の育成に積極的に取り組むこと。
------	---

中期計画	年度計画	実績及び法人自己評価		評価委員会評価	
		取組、成果、課題、評価理由等	評価	評価	評価理由・特記事項等
研修医の要望や社会的な要請に合致した研修プログラムの充実、研修プログラム及び指導医・研修医に対する評価による研修内容のさらなる向上により、臨床研修医の受け入れ推進と定着を図ります。	臨床研修運営委員会、臨床研修管理委員会を開催し、研修プログラムの充実を図り、特に研修医からの要望が強い模擬実習について、高度な技術を効率よく習得できる実習施設（シミュレーションラボ）の活用など、当院の特長を活かした研修や実習を充実させることで、臨床研修医にとって魅力ある職場環境を示し、人材の確保と定着を図ります。	研修支援プログラムの充実（10件、延べ569人受講）、模擬実習が可能なシミュレーションラボの活用（研修医延べ344人利用）など、引き続き臨床研修医にとって魅力のある職場環境の提供に努めた。さらに、臨床研修運営委員会（毎月2回開催）・臨床研修管理委員会（年3回開催）を開催し、研修プログラムなどについての評価・検討を行うなど、教育研修管理室を中心に、病院全体で研修医を支援する取組みを続けた。 臨床研修医募集定員充足率は、募集定員13名に対しフルマッチングとなり、平成28年度の目標値を達成することができた。	4		

【成果指標】

項目	平成 27 年度 実績	平成 28 年度 目標	平成 28 年度 実績
臨床研修医募集定員充足率	93%	100%	100%

【関連指標】

項目	平成 27 年度 実績	平成 28 年度 実績
臨床研修医マッチング数	13 人	13 人

第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置

2 業務運営体制の構築

(4) 事務部門の強化

中期目標	業務執行能力の高い組織を確立するとともに、医療経営や医療事務に係る専門的知識や使命感を持った人材の確保・育成を計画的に行うこと。
------	--

中期計画	年度計画	実績及び法人自己評価		評価委員会評価	
		取組、成果、課題、評価理由等	評価	評価	評価理由・特記事項等
業務執行能力の高い組織を確立するとともに、医療経営や医療事務に係る専門的知識や使命感を持った人材の採用や育成を計画的に実施します。	業務執行能力の高い組織体制とします。また、事務職員のプロパー化を推し進め、能率的な医療経営の推進を図ります。そして、人材育成計画を策定し、研修等を実施します。	<p>他病院での医事業務経験が豊富な人材や民間業者等で勤務経験がある医療関係システムに精通した人材など、法人移行後の1年目から、専門性の高い事務職員を正規職員として配置し、病院経営において医療現場のサポートや経営改革の先導役として重要な役割を担う事務部門の体制強化を図ることができた。</p> <p>さらに、次年度の人員配置について、病院あるいは民間企業での経験者を8名採用し、市からの派遣職員との切り替えを進め、派遣職員から法人職員への切り替え率については、目標値を若干下回ったものの、概ね計画どおり実施することができた。</p>	3		

		<p>研修については、多職種が連携する医療に対応できる人材を育成するため、新職員を対象に院外施設にて医療職・事務職の合同研修を実施した。</p> <p>事務職については、新職員研修を実施した。今後、勤続年数、職位に応じた研修体系を構築していく。</p>								
<p>【成果指標】</p> <table border="1" data-bbox="300 619 1173 815"> <thead> <tr> <th data-bbox="300 619 736 715">項目</th> <th data-bbox="736 619 954 715">平成 28 年度 目標</th> <th data-bbox="954 619 1173 715">平成 28 年度 実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="300 715 736 815">派遣職員から法人職員への切り替え率（事務職）</td> <td data-bbox="736 715 954 815">25.0%</td> <td data-bbox="954 715 1173 815">22.5%</td> </tr> </tbody> </table>			項目	平成 28 年度 目標	平成 28 年度 実績	派遣職員から法人職員への切り替え率（事務職）	25.0%	22.5%		
項目	平成 28 年度 目標	平成 28 年度 実績								
派遣職員から法人職員への切り替え率（事務職）	25.0%	22.5%								

第3 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置

1 健全経営の維持

(1) 安定的な経営の維持

中期目標	静岡病院が地域医療の核として、市民が必要とする高度で良質な医療サービスを継続して提供していくために、中期目標期間を通じて、経常収支を均衡させ、安定的な経営を維持すること。
------	---

中期計画	年度計画	実績及び法人自己評価		評価委員会評価	
		取組、成果、課題、評価理由等	評価	評価	評価理由・特記事項等
医療環境の変化に的確に対応しながら、収入の確保及び費用の節減を図り、市からの運営費負担金等の繰入後の経常収支を均衡させ、安定的な経営を維持します。	医療環境の変化に的確に対応しながら、収入の確保及び支出の無駄を省き、市からの運営費負担金等の繰入後の経常収支を均衡させ、安定的な経営を維持します。	診療報酬改定に対応して収入を確保すべく、経営改善プロジェクト、看護必要度委員会等を新設し、一般病棟入院基本料7対1等の新たな施設基準の取得や、算定率向上に取り組むとともに、支出面では、薬品費について、後発医薬品への積極的な切替えや、市場調査に基づく薬価交渉の際に外部アドバイザーを同席させ、更なる縮減を図るなど、病院全体で経営改善に努めたことにより、法人移行初年度となる平成28年度の収支は黒字を達成することができた。なお、平成28年度決算には、法人移行を契機に実施した会計処理方法の変更等により、一部、臨時的な収益（非資金）が計上されている（臨時的要因を除いた各	4		

指標は※1のとおり)。

【成果指標】

項目	平成 27 年度 実績	平成 28 年度 目標	平成 28 年度 実績	臨時的要因を 除く (※1)
総収支比率	100.0%	100.0%	102.2%	100.7%
経常収支比率	100.0%	100.0%	101.4%	100.1%
医業収支比率	96.2%	93.0%以上	97.4%	96.0%

第3 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置

1 健全経営の維持

(2) 収入の確保、費用の節減

中期目標	経常収支の均衡のため、収入の確保及び費用の節減について、全ての職員がこのことを意識して日頃から取り組むとともに、診療報酬改定への的確な対応や地方独立行政法人のメリットを生かした多様な契約手法の導入による調達コストの削減など、様々な機会を通じて取り組むこと。
------	--

中期計画	年度計画	実績及び法人自己評価		評価委員会評価	
		取組、成果、課題、評価理由等	評価	評価	評価理由・特記事項等
a 収入の確保のため、以下の項目を実施します。 ア 収入の確保に向けた全職員対象の研修会等を実施 イ 診療報酬改定への的確な対応 ウ 人口減少社会における患者の安定的な確保 エ 査定状況等の傾向分析に基づく診療報酬の請求漏れや査	収入の安定的確保のため、以下の項目を実施します。 ア 収入の確保に向けた全職員対象の研修会等を実施 イ 診療報酬改定への的確な対応 ウ 人口減少社会における患者の安定的な確保 エ 査定状況等の傾向分析に基づく診療報酬の請求漏れや査定防止策の関係者への周知 オ 未収金の圧縮（電話催	〔収入の確保〕 ア 病院職員合同講習会（平成 28 年 5 月 3 回開催）を実施し、2025 年問題に向けた医療提供体制や経営上の重点事項である一般病棟入院基本料 7 対 1 の届出に向けて、院内職員への意識づけ等を行った。 さらに、職員の意識改革、チーム医療の実施と診療報酬制度の正しい理解と実践により経営改善を図り、医療の継続と向上を図ることを目的とした経営改善プロジェクトの取組み事例について、職員向けに報告会を行い、同時に他病院から講師を招き、経営改善成功事例についての講演会な	4		

<p>定減防止策の関係者への周知</p> <p>オ 未収金の圧縮（電話催告、外来面談等）</p> <p>ホ 費用の節減のため、以下の項目を実施します。</p> <p>ア 後発医薬品の積極的な採用</p> <p>イ 診療材料や医薬品について、市場調査に基づく価格交渉の実施や在庫管理の徹底</p> <p>ウ 契約手法の多様化（長期契約、包括的一括契約等）</p> <p>エ 費用節減について会議等による全職員への周知・浸透</p>	<p>告、「医療相談窓口」等相談窓口の周知や職員による支払相談の充実強化）</p> <p>ホ 費用の節減のため、以下の項目を実施します。</p> <p>ア 後発医薬品の積極的な採用</p> <p>イ 診療材料や医薬品について、市場調査に基づく価格交渉の実施や在庫管理の徹底</p> <p>ウ 多様化する契約手法を最大限活用</p> <p>エ 費用節減について、会議等による職員への周知・浸透</p>	<p>どを開催した。（平成28年10月開催 参加職員110名）</p> <p>イ 診療報酬改定への適性かつ迅速な対応を図るため、経営改善プロジェクト、看護必要度委員会及びDPC検証チームを新設することにより、施設基準の取得、算定率向上に向けた取組みを行った。この結果、診療報酬の増額となる施設基準の新規届出や算定率の向上を実現し、入院単価は73,295円と前年度に比べ4,818円増となり、収入確保に効果をあげることができた。</p> <p>〈新たに取得した施設基準など〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・退院支援加算（H28.4） ・小児入院管理料4（H28.4） ・病理診断管理加算2（H28.5） ・食堂加算（H28.6） ・検体検査管理加算Ⅳ（H28.7） ・一般病棟入院基本料（7対1）看護配置（H28.8） ・病棟薬剤業務実施加算（H28.9） ・医師事務作業補助体制加算1（15対1）（H28.10） ・抗悪性腫瘍剤処方管理加算（H28.11） ・高度難聴指導管理料（H28.12） <p>ウ 患者の安定的な確保については、病診</p>			
--	---	---	--	--	--

		<p>連携総会の開催、疾患別病診連携システム「イーツー（医－２）ネット」の推進、病診連携総会及び病診がんカンファレンスの開催、オープンシステム（開放型病院）の実施など、地域の医療機関との連携に積極的に取り組んだ。しかしながら、市内の患者数が全体的に減少傾向であること、平均在院日数の短縮などが起因し、入院患者数は 165,836 人で前年度に比べ 4,782 人減となり、病床利用率は 90.9%と目標値には届かなかった。外来患者数は 282,213 人となり前年度に比べ 5,830 人減となった。</p> <p>エ 査定状況などの分析・報告を行うため、保険診療対策委員会を毎月開催した。高額査定された内容を検証し、具体的な請求方法の指示や、再審査請求を推進するなど、査定減対策などの強化に努めた。</p> <p>オ 未収金の圧縮に向けた取組みとしては、職員による納付相談・催告に加え、債権回収専門業者への徴収業務委託などを実施した。平成 28 年度の収納率（現年度分）は 98.1%となり、目標値を上回ることができた。</p> <p>〔費用の節減〕</p>			
--	--	--	--	--	--

		<p>ア 後発医薬品の切り替えについて、経営への影響が大きい薬剤を中心に、薬剤委員会において、効果等について検証しながら積極的に切り替えを進めた結果、後発医薬品指数の平成 28 年度実績は 83.9%となり、目標値を上回ることができた。</p> <p>イ 医薬品の購入価格を抑えるため、市場調査に基づく価格交渉を実施しているが、更なる抑制効果を期待し、平成 28 年度から新たな取組みを始めた。医薬品の相場価格に精通している民間業者と業務契約を締結し、医薬品業者との薬価交渉の際に、契約した民間業者をアドバイザーとして同席させ、薬価交渉を有利に進めた。その結果、年度当初の医薬品の値引率 13.1%に対し、アドバイザー同席による交渉後の値引率は 15.1%となり、医薬品購入費を年間で約 80,000 千円抑制することができた。今後は、診療材料の値引率向上のほか、病院全体の経費節減を目指し、アドバイザー業務を拡充していきたい。</p> <p>ウ 委託契約については、従来、業者の選定に関して内部で部会を開催しているが、さらに、委託の内容、積算方法等についても協議した。</p> <p>エ 毎月開催される運営会議・部門連絡会</p>			
--	--	--	--	--	--

		において、月別の主な収入・支出状況を報告し、各所属の職員等と病院の収支について情報共有を図った。			
【成果指標】					
	項目	平成 27 年度実績	平成 28 年度目標	平成 28 年度実績	
	病床利用率	93.2%	95.0%以上	90.9%	
	収納率（現年度分）	98.7%	98.0%以上	98.1%	
【関連指標】					
	項目	平成 27 年度実績	平成 28 年度実績		
	入院患者数	170,618 人	165,836 人		
	外来患者数	288,043 人	282,213 人		
	手術件数	5,409 件	5,422 件		
	平均在院日数	12.5 日	12.1 日		
【成果指標】					
	項目	平成 27 年度実績	平成 28 年度目標	平成 28 年度実績	
	後発医薬品指数	60.7%	65.0%	83.9%	
【関連指標】					
	項目	平成 27 年度実績	平成 28 年度実績		
	給与費比率	41.6%	47.5%		
	材料費比率	36.7%	31.0%		
	経費比率	16.2%	16.7%		

第1 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置

4 利用しやすく快適な病院づくり

(2) 患者ニーズに応じた医療・病院環境の提供

中期目標	提供する医療や病院環境に係る患者ニーズを把握して、そのニーズに対応し、患者にとって利用しやすく快適な病院づくりを進めること。
------	--

中期計画	年度計画	実績及び法人自己評価		評価委員会評価	
		取組、成果、課題、評価理由等	評価	評価	評価理由・特記事項等
<p>a 患者満足度調査などによって患者ニーズを把握し、そのニーズを満たすために必要な改善を行います。</p> <p>b 患者にとって利用しやすい病院環境を確保するため、待ち時間調査を実施し、待ち時間を短縮できる方策を検討するとともに、待ち時間をなるべく有意義に過ごしてもらえよう、診察待ちの患者さん</p>	<p>a アンケート等により患者ニーズを把握し、院内施設等の改修や診療体制等の運用面の改善に努め、ハードとソフト両面から快適な環境を提供します。</p> <p>b 患者にとって利用しやすい病院環境を確保するため、待ち時間調査を実施し、待ち時間を短縮できる方策を検討するとともに、待ち時間をなるべく有意義に過ごしてもらえよう、診察待ちの患者さんに対し</p>	<p>患者満足度調査を実施し、患者ニーズの把握に努めた。調査の結果、「概ね満足と回答した割合」は、90.6%で、目標値としていた90.0%以上を上回ることができた。</p> <p>待ち時間調査の集計結果から、外来業務委員会により診察から会計までの流れを検証した。待ち時間・待たされている所感の改善に向けて検討を重ね、改善が期待される運用方法の変更について来年度に実施予定である。</p> <p>患者さんに安らぎのある空間を提供することを目的に、癒しのための病院にふさわしい花を取り入れる活動「病院にふたたび花を」プロジェクトを実施した。具体的な取り組みとして、静岡デザイン専門学校、するが花き卸売市場との三者による</p>	4		

<p>んに対し体操指導を行うなど、改善に向けた取り組みを実施します。</p> <p>c 胆石摘出など短期間の入院が見込まれる患者が、入院治療をもっと身近に利用できるよう、患者が利用しやすい診療体制や運用方法等を管理する専門部署の設置について検討を進めます。</p> <p>d 患者にとって快適な病院環境を確保するため、花や緑による緑化など、安らぎの空間を院内に整備します。</p> <p>e 市民から信頼される病院であり続けるため、職員一人ひとりが患者の立場に立った接遇の実践ができるよう病院の全職員を対象とした接遇研修を毎年実施します。</p>	<p>体操指導を行うなど、改善に向けた取り組みを実施します。</p> <p>c 短期間の入院治療について、患者の利便性などの向上を図るため、専門部署の設置について検討します。</p> <p>d 花や緑のある安らぎの空間について、他の医療機関の状況や感染管理を考慮し、院内へ配置します。</p> <p>e 市民から信頼される病院であり続けるため、職員一人ひとりが患者の立場に立った接遇の実践ができるよう病院の全職員を対象とした接遇研修を実施します。</p>	<p>「SHIZUBYOU 花パートナーシップ協定」を締結し（平成 28 年 5 月）、病院内にフラワーアレンジメントの展示などを行った。さらに、静岡県農林技術研究所、するが花き卸売市場とメンテナンスフリー切り花に関する共同研究契約を締結し（平成 28 年 9 月）、院内共有スペース等 33 箇所にメンテナンスフリー切花を設置した。</p> <p>患者さんの満足度を高めるため、正規職員、パート及び委託業者を含む全職員に対し、外部講師による接遇研修を実施した。（5 日間全 10 回に分け実施 1,302 名参加）</p>			
---	---	--	--	--	--

【成果指標】

項目	平成 27 年度 実績	平成 28 年度 目標	平成 28 年度 実績
患者満足度調査結果（概ね満足 と回答した割合）	89.3%	90.0%以上の 維持	90.6%

【関連指標】

項目	平成 27 年度 実績	平成 28 年度 実績
医療相談件数	7,585 件	6,740 件
患者意見件数	145 件	179 件